
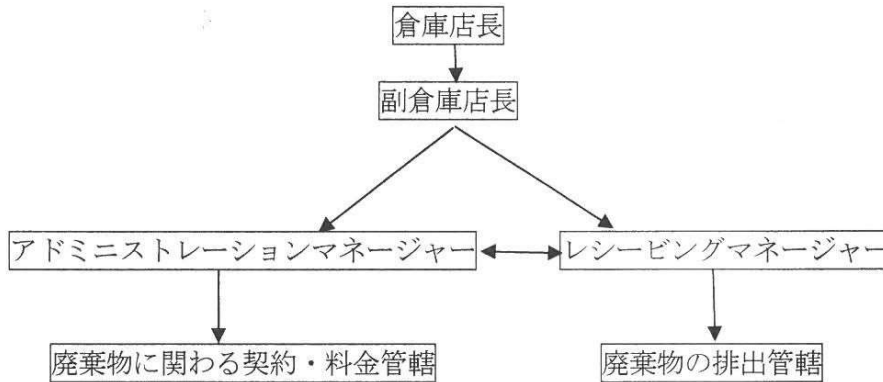


<p>産業廃棄物処理計画書</p> <p style="text-align: right;">2023年 6月 15日</p>	
<p>埼玉県知事 殿</p>	<div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: right; margin-top: 20px;">提出者</p> <p style="text-align: right; margin-top: 5px;">住 所 千葉県木更津市瓜倉361番地</p> <p style="text-align: right; margin-top: 5px;">氏 名 コストコホールセール株式会社</p> <p style="text-align: right; margin-top: 5px;">代表取締役 ケン テリオ</p> <p style="text-align: right; margin-top: 5px;">(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)</p> <p style="text-align: right; margin-top: 5px;">電話番号 0438-42-2600</p> <p style="margin-top: 20px;">廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>
事業場の名称	コストコホールセールジャパン株式会社 入間倉庫店
事業場の所在地	埼玉県入間市宮寺3169-2
計 画 期 間	<del>2022</del> 年 4月 1日 ~ <del>2023</del> 年 3月 31日 2023 2024
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	各種商品小売業
② 事業の規模	280億円
③ 従業員数	480名(短期スタッフを除く)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃油→加熱分離(委託)→油分は再生品として再利用(委託)、水分は焼却(委託)→焼却(委託)→埋立(委託)</li> <li>・木くず →破碎(委託)→製紙・ボード原料として再利用(委託)</li> <li>・プラスチック類 →熔融(委託)→ 売却(委託) →破碎(委託)→ 燃料として利用(委託) →破碎・圧縮(委託)→ 焼却または埋立(委託)</li> <li>・汚泥 →焼却(委託)→埋立(委託) →脱水(委託)→肥料化再生(委託)・埋立(委託)</li> <li>・石膏ボード →破碎・分離(委託)→原料として再利用(委託)</li> <li>・蛍光灯管 →分解・破碎(委託)→リサイクル原料として再利用(委託)</li> <li>・乾電池 →選別・破碎(委託)→スラグリサイクル・原料として再利用(委託)</li> <li>・混合廃棄物→選別(委託)→原料として再利用(委託)・埋立(委託)</li> </ul>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) 事業場内で発生する廃棄物の現状を把握し、スタッフへ分別の徹底を指導している		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) スタッフへの分別の徹底を指導→スタッフの入れ替わりがある際の周知を徹底させる 梱包資材の簡素化を検討する 廃棄物システムを導入し、廃棄物の排出量等分析ができるようにする		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 木くず(木パレット)、廃プラスチック類(発泡スチロール)など再生利用が可能な廃棄物の分別を行っている
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 再生利用が可能な廃棄物の分別をさらに徹底していく

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2022 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2022 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2022 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2022 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 定期的な社内研修を実施し委託実務に関する基礎知識を習得 委託基準に基づき、可能な限り再生利用可能な処理業者へ委託を実施		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>定期的な社内研修を実施し委託実務に関する基礎知識の習得を継続委託基準に基づき、可能な限り再生利用可能な処理業者へ委託を実施</p> <p>汚泥の排出量が突出して多いため引き続き排出の見直し(業務に問題がない程度の引き抜き量の検証等)を実施していく</p>		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

産業廃棄物の種類	廃油	木くず	廃プラスチック類	汚泥	石膏ボード	蛍光灯	乾電池	混合廃棄物
現状【前年度実績】	16.224 t	328.25 t	109.897 t	564.22 t	0.06 t	0.064 t	0.04 t	9.305 t
計画【目標】	21 t	324 t	108 t	508 t	0 t	0.1 t	0.1 t	8.4 t

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

産業廃棄物の種類	廃油	木くず	廃プラスチック類	汚泥	石膏ボード	蛍光灯	乾電池	混合廃棄物
現状【前年度実績】	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
計画【目標】	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

産業廃棄物の種類	廃油	木くず	廃プラスチック類	汚泥	石膏ボード	蛍光灯	乾電池	混合廃棄物
現状【前年度実績】 (自ら熱回収を行った量)	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
現状【前年度実績】 (自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量)	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
計画【目標】 (自ら熱回収を行った量)	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
計画【目標】 (自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量)	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

産業廃棄物の種類	廃油	木くず	廃プラスチック類	汚泥	石膏ボード	蛍光灯	乾電池	混合廃棄物
現状【前年度実績】	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
計画【目標】	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

産業廃棄物の種類	廃油	木くず	廃プラスチック類	汚泥	石膏ボード	蛍光灯	乾電池	混合廃棄物	
現状 前年度実績	全量処理委託量	16.224 t	328.25 t	109.897 t	564.22 t	0.06 t	0.064 t	0.04 t	9.305 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t	84.457 t	554.81 t	0.06 t	0.064 t	0.04 t	9.305 t
	再生利用業者への 処理委託量	16.224 t	328.25 t	91.997 t	53.26 t	0.06 t	0.064 t	0.04 t	4.652 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者 処理委託量	0 t	0 t	17.5 t	9.41 t	0 t	0 t	0 t	0 t
計画 目標	全量処理委託量	21 t	324 t	108 t	508 t	0 t	0.1 t	0.1 t	8.4 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t	83 t	506.6 t	0 t	0.1 t	0.1 t	8.4 t
	再生利用業者への 処理委託量	21 t	324 t	89 t	48.26 t	0 t	0.1 t	0.1 t	4.2 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者 処理委託量	0 t	0 t	19 t	1.4 t	0 t	0 t	0 t	0 t